

文庫本の棚を移動しました！

狭山市立中央図書館にある中高生向けの文庫本（JF）の棚を
2階玄関を入ってすぐの場所に移動しました。

中央図書館と狭山台図書館にはどんなライトノベルが置いてあるのか
ぜひ見に来てください。

中学生のPOPを募集します！

狭山市立中央図書館児童書フロアでは、今年も
中学生のみなさんのおすすめ本のPOPを募集します。

去年作った方も、初めての方も、ぜひ参加してください。
詳しい内容は学校図書館司書または担当の先生まで！

夏のイベント★参加者募集！

ビブリオバトル

日 時 7月27日（日）・8月24日（日） 15:00~16:00
場 所 狭山台図書館 2階 視聴覚室
対 象 小学生~大人
申 込 不要



《さやまの100冊》「子どものときに読みたい本100冊」（さやまの100冊）は
教育委員会がおすすめしている本です。ぜひ、読んでみてください。



図書館のホームページから、読みたい本の予約ができます。

イベント、開館時間、休館日等の最新情報もこちらからご確認ください。

狭山市立中央図書館 ☎ 04-2954-4646

狭山市立狭山台図書館 ☎ 04-2958-3801

狭山市公式HP <https://www.city.sayama.saitama.jp/>



YOMUZO TIMES

よむぞう タイムズ
FOR TEENS
第5号



暗闇のなかに光るもの



『天を掃け』

黒川 裕子／著 中村 ユミ／絵 講談社
JFク

予約はこちら／



怪我がきっかけで走れなくなった陸上部の駿馬は、上級生たちに絡まれているすばるを見過ごせず声をかけた。
曇り空なのに星を見ると言う彼を追って夜の山に登ると、すばるは頂上で次々と機材を広げ始めた。無数の星のなかからただ一つの未発見の小惑星を探すという彼に、駿馬は衝撃を受ける。

狭山市立図書館のティーンズ担当が10代のみなさんにおすすめするブックリストです。
第5号 Menu テーマ 「暗闇のなかに光るもの」

2025年7月15日発行

B
O
O
K

M
E
N
U

『夜間中学へようこそ』



山本 悦子／作
岩崎書店
JF ヤ



優菜のおばあちゃんが、自分も中学に通うと宣言した。おばあちゃんが行くのは、優菜の通う中学校ではなく夜間中学らしいけど、それってなに？

ある日、おばあちゃんが怪我をして一人で通学できなくなってしまう。優菜は、おばあちゃんに付き添って夜間中学に通うことに。

『星の使者 ガリレオ ガリレイ』



ピーター・シス／文・絵、
原田 勝／訳 徳間書店
EF シ



かつて、人々は地球が宇宙の中心だと考えていた。夜空に見えるすべての星は地球の周りを回っていると、長い間信じていた。

ところが、こう考えた男がいた。もしかしたら、地球が太陽の周りを回っているのかもしれない…。

◆さやまの 100 冊

『ささやきの島』



フランシス・ハーディング／著
エミリー・グラヴェット／絵
児玉 敦子／訳 東京創元社
JF ハ



マイロの父は、死者が死後の世界に渡るのを助ける渡し守だ。しかしある晩、死んだ娘が旅立つのを阻止しようとする領主に殺されてしまう。

兄も捕まってしまった今、死者を渡せるのはマイロしかない。彼はたったひとり、死者を乗せて船を出した。しかしすぐに追手の船が…。

『宇宙を仕事にしよう!』



村沢 譲／著
河出書房新社
J538 ム



宇宙にかかわる仕事ときいて思い浮かぶのは…宇宙飛行士？天文学者？

実は宇宙には、ロケットのエンジンを開発したり、宇宙のゴミを追跡したり、いろいろな仕事がある。

宇宙を仕事にしたいと思った先輩たちには、どんな努力や挫折があったのか。どうやって夢を叶えたのだろうか。

『文豪ノ怪談ジュニア・ セレクション 夢』



夏目 漱石, 芥川 龍之介 ほか
[著] 東 雅夫／編
山科 理絵／絵 汐文社
JL プ 1



文豪たちが書いた、夢にまつわる怪談を収めた本です。

夜に見る夢、病の床で見る夢、おそろしい夢…。あなたはどんな夢を見るでしょう。これを読んで悪夢にうなされないよう、ご注意ください。

◆『文豪ノ怪談ジュニア・セレクション』シリーズ全 8 巻

『ジェイミーが消えた庭』



キース・グレイ／作
野沢 佳織／訳
徳間書店
JS グ



夜、ぼくとジェイミーは、よその家の裏庭を駆け抜けるゲームに挑む。誰もクリアしたことのない難ルートで、ぼくはヘマをした。住人に気づかれ、犬にほえられ、パニックになったぼくは逃げ出した。しかしどれだけ待ってもジェイミーは来ない。ぼくがジェイミーを探しに戻ると、そこにはパトカーが。

『正義の声は消えない 反ナチス・白バラ抵抗運動の学生たち』



ラッセル・フリードマン／著
渋谷 弘子／訳
汐文社
J234 フ



第二次世界大戦中、ドイツでナチスやヒトラーを批判する「白バラのピア」が配られた。夜にひっそりと集まってピアを作り、戦争に抵抗していたのは、大学生たちだった。

ユダヤ人への迫害に反対するのは命の危険を伴うと知りながら、彼らは爆弾ではなく、ことばで闘おうとした。

『夜のピクニック』



恩田 陸／著
新潮社
B913.6 オ, 913.6 オ



恩田陸『夜のピクニック』（新潮文庫刊）

恩田陸『夜のピクニック』（新潮社刊）

全校生徒が朝 8 時から翌朝 8 時まで歩き続ける鍛練歩行祭。部活の仲間とタイムを競ったり、友だちと話をしながら歩いたりする、北高の一大イベントだ。そんな高校最後の夜間歩行で、貴子は小さな賭けをする。